

令和2年度第1回図書館協議会（書面会議）

令和2年4月開催

参加 下出、樋口、橋本、近藤、小柳津、宮坂、柴田、鈴木委員

1. 委嘱状交付（郵送により交付）

2. 議題

（1）図書館栄分室の閉鎖について（諮問） 資料1

（2）その他

○開催方法 新型コロナウイルス感染症対策の一環として、文書（郵送）による会議（意見集約）とした。

資料及び意見表示用紙を発送、回答期限を4月30日とした。

○意見集約の結果 資料2のとおり。

資料No. 1

豊明市立図書館栄分室の閉室について（説明）

本市の図書館は、市域中央部や北部よりの本館と、南部地区の栄分室、南部公民館図書室の3か所で業務を実施しています。情報インフラの整備が進む中、スマートフォンによる情報収集や電子書籍の普及により、従来と比べ図書館の利用者は全国的に減少、あるいは利用者の固定化が進んでいます。本市も例外ではなく、特に南部地区2か所の図書館利用が減少している状況が見られます。

厳しい財政状況が言われて久しい中、限られた図書館経営資源で最大限の効果を発揮させ、変化する時代にあっても新たなニーズも含め、図書館に求められる役割をしっかりと果たして行く必要があります。これまで図書館では、行政改革の内部評価において、2か所ある南部地区の図書館機能を1か所に集約し、図書館行政の経営資源を集中させることを検討してまいりました。

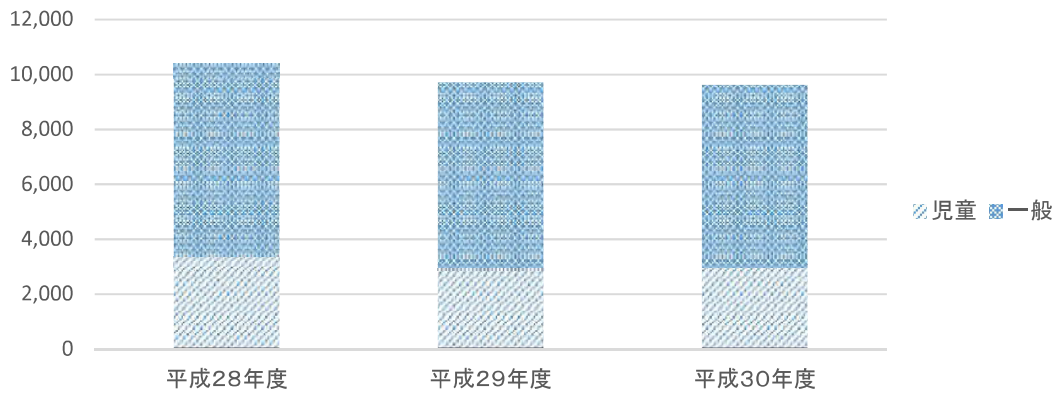
一方、共働き世帯の増加で、保育園や児童クラブの待機児童が発生している問題は、優先順位を上げて取り組む重要な課題だと認識しています。特に学童保育である児童クラブは、子どもの安全確保の観点から学校施設内での実施が求められていて、図書館栄分室が設置されている栄小学校においても、この課題が発生しています。

そこで今後、より充実した図書館サービスを提供する上でも有利となることが予想される、公共交通結節点の都市拠点として整備が進む前後駅隣接の南部公民館図書室に南部地区の図書館機能を集約することとし、図書館栄分室を閉室することで、児童クラブの問題解決にも貢献したいと考えます。

(別紙) 栄分室・ひまわり児童クラブ 利用者等の推移

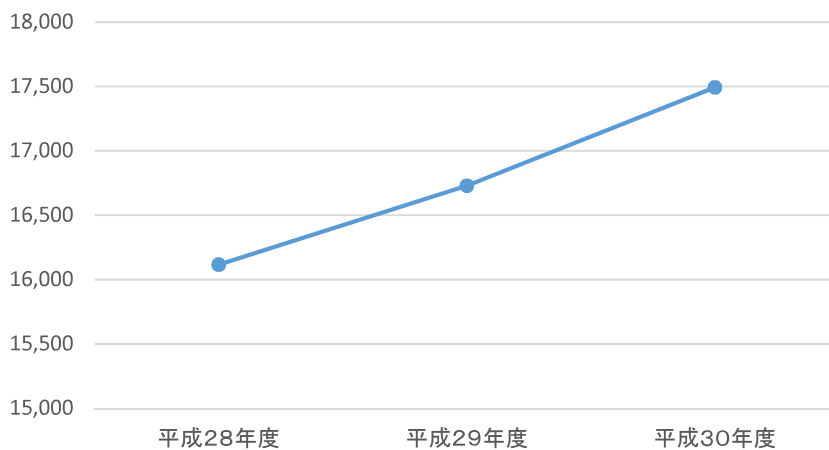
【栄分室利用者数】

年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
児童	3,347	2,869	2,948
一般	7,037	6,837	6,670
合計	10,384	9,706	9,618



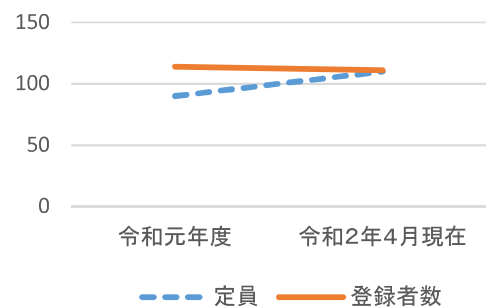
【ひまわり児童クラブ】

年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
参加人数	16,116	16,729	17,492



【ひまわり児童クラブ】

	令和元年度	令和2年4月現在
定員	90	110
登録者数	114	111



令和2年度第1回図書館協議会 意見集約結果

<議題> 図書館栄分室の閉鎖について

(1) 主旨	承知した	7	人
	概ね承知した	1	人
	承知できない	0	人
	判断しかねる	0	人
	その他	0	人

(2) ご意見等 (抜粋)

- ・ 残念だが、社会情勢の変化なら仕方がない。南部地区の充実を。
- ・ 児童の安全面で最善策だが、南部公民館図書室の充実も課題だ。
- ・ 児童クラブの優先順位は高い。栄分室の閉室は仕方がない。
- ・ 南部地区は公共施設が少ない反面、図書室が充実していると考えていた。
- ・ 学校内の児童クラブは、優先されるべし。
- ・ 校内の公共図書室は利点もあったが、利用者数も減っており妥当だ。
- ・ 本館の機能が十分発揮されていれば、期待に応えられると思う。
- ・ 児童クラブは喫緊の課題である。

(3) その他の記述 (抜粋)

- ・ 図書館は、街づくりに貢献する施設だ。前後駅前施設の工夫と活性化を望む。
- ・ 読書の魅力、文書表現力、語彙力などを養う、図書館の原点を忘れずに。
- ・ 図書室、情報拠点、賑わいの場として南部の充実を願う。
- ・ 緊急事態宣言はやむを得ない。子供たちに本を貸出できないか。
- ・ 現状を多くの市民に知り、足を運んでもらいたい。

以上